

# 平成19年度学校自己評価シート（埼玉県立 進修館 高等学校）

目指す学校像 (ミッション)	安心安全な環境の中で、規律ある態度の育成と学力・体力の向上を目指す学校、活力にあふれ、地域が誇りに思える学校
本年度の 重点目標	1. 規律ある態度の育成をはかる。 2. 学力向上と進学・就職実績の向上をめざす。 3. 学校情報を積極的に発信し、本校への理解を深め、志願者数の増加をめざす。

年度当初				最終評価(3月)			
番号	評価項目	現 状	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度	次年度の課題と改善策
1	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒は校則を守っているが一部に違反している生徒がいる。</li> <li>登下校時等のマナー違反に対して地域からの指摘がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に頭髪、服装指導を実施する。</li> <li>登校指導を定期的に行う。</li> <li>通学路清掃を実施する。</li> <li>学年及び生徒指導部の連携による組織的な指導体制を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校則違反の減少。</li> <li>指導件数の減少。</li> <li>遅刻者の減少。</li> <li>生徒、保護者の満足度の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校指導を定期的実施、又、服装頭髪指導を年6回全校で実施し、校則違反者が減少した。</li> <li>指導件数は昨年なみであった。</li> <li>年間20回以上の遅刻者数は昨年度より約30%減少した。</li> <li>研修会を実施し、指導基準の統一を図り、登校指導等、組織的に取り組めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の指導を計画的、継続的に保護者と連携して進める。</li> <li>さらに共通理解を図り、計画的段階的な指導を行う。</li> <li>ルール、マナーを守るための啓発活動を実施する。</li> <li>更に、遅刻者数の減少を目指す。</li> <li>より安心して学べる環境をつくるため、具体的な改善策を検討し実行する。</li> </ul>
2	授業改善及び学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に前向きに取り組む生徒が多いが一部に集中できない生徒がいる。</li> <li>目的意識を持っていない生徒がいる。</li> <li>大学進学希望者が増える中、安易に推薦入試にたよる者もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味、関心を示す授業展開を更に工夫する。</li> <li>少人数授業及び生徒の能力に応じた授業展開を行う。</li> <li>キャリア学習の充実を図る。</li> <li>大学への理解を深めさせチャレンジする生徒を増や</li> <li>土曜補習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績不振者の減少。</li> <li>補習参加者の増加。</li> <li>国・公立大学を含め進路実績の向上。</li> <li>生徒、保護者の満足度の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績不振者に対し、手厚い指導を行った。</li> <li>補習の開講講座数は昨年と変わらない。最後まで補習に積極的に取り組んでいる生徒がいた。</li> <li>大学63名、短大15名、専門学校120名、就職103名(公務員5名を含む)が決定した。</li> <li>大学の一般受験者が増加した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路意識が向上する策を検討し、実施する。</li> <li>生徒の満足度を高める補習体制をつくる。</li> <li>進路実績の向上を推進するために、自習室を利用し、家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>更に、チャレンジする生徒を増やす。</li> <li>本年度の結果を踏まえ更なる改善を図る。</li> </ul>
3	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会を数多く実施している。</li> <li>授業の公開を実施している。</li> <li>インターンシップによる地域との交流を図っている。</li> <li>図書館を一般開放している。</li> <li>昨年度、学校評議員会及び学校評価懇話会を実施し学校経営に生かした。</li> <li>進修館通信を発行し、情報発信を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校別担当を決め積極的に中学校訪問を行う。</li> <li>学校説明会について創意・工夫を行う。</li> <li>多くの保護者及び地域の方が参観できる公開授業を考える。</li> <li>インターンシップの充実を図る。</li> <li>一般開放型図書館を活用し、地域との交流を図る。</li> <li>学校評価懇話会の委員を増やし、より多く意見を求める。</li> <li>進修館通信を発行し、積極的に情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校側の本校への理解が深まる。</li> <li>学校説明会参加者数の増加(志願者数の増加)。</li> <li>公開授業の参観者数の増加。</li> <li>図書館利用者数。</li> <li>学校評価懇話会の評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で2回、係で1回、計3回中学校訪問を実施した。</li> <li>進修館通信を年間8号発行し、中学校や公民館に配布した。</li> <li>学校説明会に、1160名の中学生が参加した。生徒数減少の中、健闘した。</li> <li>3学科別々であったリーフレットを貰う側の視点に立って改良し一つにまとめた。</li> <li>公開授業の参加者数は、平日に実施したことにより増加しなかった。</li> <li>図書館の一般の方のべ利用者数は300名を超えた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会や進修館通信等を通して保護者や地域に情報発信を継続して積極的におこなっていく。</li> <li>本校の地域開放型新図書館を通して、地域との連携を深める。</li> <li>公開授業について、PRの強化に努める。</li> <li>入試の志願状況等を分析し、来年度の取組を新たに検討する。</li> <li>学校評価アンケートを実施し、保護者、生徒等の評価を次年度の改善に生かす。</li> </ul>

達成度 A:十分達成 (100%)    B:概ね達成 (80%程度)    C:変化の兆し (50%前後)    D:まだ不十分 (30%前後)    E:目標、方策の見直し (20%以下)